

仙台下水道防災宣言

我々、下水道関係者は、2011年3月11日の東日本大震災から今まさに復興の途上にある宮城県仙台市に、2015年3月17日から18日にかけて集まりました。我々は、東日本大震災で亡くなられた多くの方々に対し深い哀悼の意と被災者及び被災地域に対する世界各地からの多大なる支援に感謝の意を表明いたします。

我々はこれまでに様々な防災対策に取り組んできました。東日本大震災のような未曾有の震災に対しては、被害を完全に防ぐことは不可能ですが、下水道施設の耐震化といった事前のハード整備に加え、緊急時の資器材や燃料の確保、BCPの策定、さらには、被災時の相互支援や人材育成といったソフト対策を中心とする減災対策により相当程度被害が軽減できること、また、発災後の初動対応や応急対応の成功により迅速な復旧が可能となることが確認されました。昨今、世界的に大規模災害の発生リスクが増大していることから、ハード対策の取組みを引き続き強化するとともに、ソフト対策を一層充実する必要があります。

さらに、震災からの復旧・復興に際しても、エネルギーやバイオマスといった下水道が持つ有用な資源を地域・社会へ還元するとともに、省エネルギーの取組みや再生可能エネルギーの活用を促進することで、地球環境保全や持続型社会へ貢献することの重要性の認識を共有しました。

「2015 下水道防災シンポジウム in 仙台」において確認された、震災対応における様々な事例や復旧、復興に関する経験、教訓を、広く共有することにより、一層の防災・減災対策の推進が期待されることから、我々は今後積極的に情報発信と国際協力を行う必要があります。同時に、災害がもたらす人的及び社会的、経済的、環境的な損失の軽減に向けて、下水道に関する取組みを積極的に行わねばなりません。

以上の観点から、我々は、下水道の防災・減災に関する行動について、世界に向けて次のとおり宣言します。

1. 我々は、東日本大震災の教訓を踏まえた下水道施設の耐震化や耐津波化など、下水道インフラのハード対策を引き続き推進することにより、強靱な社会の構築に貢献します。

【災害に対するハード対策の重要性に関する宣言】

2. 我々は、下水道界における人材育成・人材確保に努め、災害時には相互支援により、大規模災害の影響を軽減します。

【災害に対するソフト対策の重要性に関する宣言】

3. 我々は、災害時において下水道の機能をいち早く回復するとともに、まちや産業の再生など、地域の復興を支えるために下水道が持つ有用な資源を提供します。

【短期～中期における施設復旧の重要性に関する宣言】

4. 我々は、復旧・復興にあたって、省エネルギーの取組み及び再生可能エネルギーの活用を推進することで、持続可能な社会の実現に貢献します。

【長期における施設復旧の重要性及び下水道のあり方に関する宣言】

5. 我々は、下水道の被災・復旧・復興に関する経験、教訓を広く世界に発信するとともに、防災・減災に関する技術やノウハウに関する国際協力を積極的に進めることにより、世界における安全で快適な社会の実現に貢献します。

【情報共有・国際協力の重要性に関する宣言】